

学校番号

全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次のア、イ又はウの生徒

ア 中学校で欠席・遅刻・早退が少なく、かつ、本校入学後も学習活動に積極的に取り組む生徒

イ 中学校で生徒会活動や学校行事に積極的に取り組み、本校入学後もその分野に積極的に取り組む生徒

ウ 中学校で部活動に3年間熱心に取り組む、本校入学後も部活動に積極的に取り組む生徒

2 選抜資料

(1) 学力検査	県下一斉に同一条件で行う5教科の学力検査
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者1名・評価者3名の個人面接
(4) 自己表現	次のア、イのいずれかを、出願時に受検者が選択 ア 口頭による自己表現 日本語による自己アピール等（1名70秒から90秒） イ 実技による自己表現 次の部活動実技のうち1つを選択 陸上競技(男女)・野球(男)・卓球(男)・バスケットボール(男女)・ バドミントン(男女)・バレーボール(女)・サッカー(男女)・剣道(男 女)・書道(男女)・吹奏楽(男女)・美術(男女)
(5) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
各教科の得点	特に問題となる点がある場合、審議の対象とする。

(2) 調査書

次のイ、ウ及びエの評価項目は、評価基準をもとに数値化して60点満点で評価する。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	・全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 ・全学年の計の値が著しく低い教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	・3年間の欠席日数の合計が10日未満の場合、評価する。 ・3ヶ年皆勤の場合は、さらに評価する。

	・3年間の欠席日数が多く、その理由が不明確である場合、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	・〇印の個数が特に少ない場合、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録及び部活動の記録・特記事項	・同一部活動を3年間続けた場合、評価する。 ・体育系・文化系の様々な分野において、校外の大会等で優秀な成績を残した場合、評価する。 ・漢字検定、数学検定、英語検定、毛筆検定又は硬筆検定において4級以上の資格を有している場合、評価する。 ・学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動等において委員長、本部役員、部長等としての活動した場合、評価する。
オ 総合所見	本校の期待する生徒像、並びに調査書の評価項目ア、イ、ウ及びエに関連する内容について評価する。

(3) 面接

受検者1名ごとに5分程度の個人面接を実施する。面接は、3名の担当者がそれぞれA・B・Cの3段階で評価し、その評価を数値化して100点満点で評価する。Cの評価がある場合、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
(ア) 志望動機	本校の期待する生徒像を理解しているか。
(イ) 内容	質問をよく理解して、自分の考えで答えられているか。
(ウ) 規範意識	学校のルールを守ろうという意識があるか。
(エ) 態度等	礼儀、姿勢、言葉遣い、身だしなみはきちんとしているか。

(4) 自己表現

出願時に申告した方法・種目（スピーチ、実技）で自己表現を行う。自己表現は、2名の担当者がそれぞれA・B・Cの3段階評価し、その評価を数値化して300点満点で評価する。

ア 口頭による自己表現（スピーチ）

自己アピールや高校生活の抱負について、1人70秒から90秒で、2名の担当者の前で話をする。メモ等の持込みは認めない。

評価項目	評価基準
(ア) 自己アピール・内容	本校の期待する生徒であることが、自分の言葉で分かりやすく表現できているか。
(イ) 表現力・意欲	表現力豊かで意欲的に伝えているか。
(ウ) 時間	制限時間を有効に使うことができたか。
(エ) 態度・話し方	礼儀、姿勢、言葉遣いはきちんとしているか。

- イ 実技による自己表現 運動系【陸上競技(男女), 野球(男), 卓球(男), バスケットボール(男女),
バドミントン(男女), バレーボール(女), サッカー (男女), 剣道(男女)】
各実技の実施方法は, 検査の当日に指示する。実技に必要な持ち物等は, 出願時に指示する。

評価項目	評価基準
(ア) 基礎運動	基礎的な運動能力を身につけているか。
(イ) 専門能力・技術	専門的な運動能力・技術を身につけているか。
(ウ) 意欲	取組に意欲があり, 3年間続ける意志が感じられるか。
(エ) 態度	取り組む姿勢, 態度, 身だしなみはきちんとしているか。

- ウ 実技による自己表現 文科系【書道(男女), 吹奏楽 (男女), 美術 (男女)】
実技の実施方法は, 検査の当日に指示する。実技に必要な持ち物等は, 出願時に指示する。

評価項目	評価基準
(ア) 基礎技術	基礎的な技術を身につけているか。
(イ) 表現力・実践力	表現力・実践力を身につけているか。
(ウ) 意欲	取組に意欲があり, 3年間続ける意志が感じられるか。
(エ) 態度	取り組む姿勢, 態度はきちんとしているか。

(5) 志願理由書

評価項目	評価基準
志願理由	本校の期待する生徒像を踏まえた内容であるか。
自己アピール	本校の期待する生徒像を踏まえた内容であるか。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

学力検査, 調査書, 自己表現及び面接検査の得点から算出した総合得点の順位を基準とし, 次の各項目に留意して入学許可候補者として内定する。

- ア 学力検査の個々の教科の得点
- イ 調査書の個々の教科の評定
- ウ 調査書の出欠の記録
- エ 調査書の行動の記録
- オ 面接におけるCの評価
- カ 志願理由書や自己申告書の記載内容

(2) その他

自己申告書が提出された場合には, 選抜のための資料に加え, 提出されたことにより, 不利益な取扱いをすることがないように十分に留意する。

5 その他

特になし。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

4 その他

特になし。

後期 サンプル

平成26年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号

全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	県下一斉に同一条件で行う5教科の学力検査
(2) 調査書	中学校等の校長から送付された調査書

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。
イ 出欠の記録	3年間で60日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	すべての欄が○の場合には、総合的に判定する際の参考とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特に優れた記録については、総合的に判定する際の参考とする。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

公立高等学校入学者選抜実施要項に従い、A組となる者は入学許可候補者とする。A組に属さない者はB組とし、すべて審議の対象とする。順位付けには算式2を利用する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

4 その他

過年度生の面接は行わない。